

令和8年度 第1回 香南市地域公共交通会議 議事録

- 日 時：令和8年5月21日（木）14時00分～15時00分
- 場 所：香南市役所本庁 305・306 会議室
- 出席委員：北村浩司（香南市副市長）
今西俊雄（（有）平和観光）
中村智賀子（（株）のいちタクシー）※代理
山本倫世（（有）さくらハイヤー）
松山明夫（（社）高知県バス協会）
山中節子（住民・利用者代表）
十川牧子（四国運輸局高知運輸支局）
安澤友行（四国運輸局高知運輸支局）
岸野真輔（南国警察署）
宇賀義政（高知県中央東土木事務所）
門田健一（土佐国道事務所）
峠美月（高知県交通運輸政策課）※代理
- 坂本泰資（高知東部交通（（株）））
別役修（香南市社会福祉協議会）
西内裕晶（高知工科大学）
中島貴也（香南市高齢者介護課）
山脇深（土佐くろしお鉄道（株））
坂本充子（香南市教育委員会）
- 欠席委員：野島康博（（有）野島ハイヤー）
吉田雅彦（住民・利用者代表）
- 事務局等：近藤誠、竹下洋隆（地域支援課）
土居貴之（えこまち研究室）

1. 開会

委員 20 名のうち 16 名が出席しており、会議が成立していることを報告。

2. 副市長挨拶

○副市長

本日は皆様ご多忙のところ、会議にご出席いただきありがとうございます。

4 月から別府前副市長に代わり副市長を務めさせていただいております北村と申します。よろしくお願いいたします。

令和8年10月からの市営バス及び予約式乗合タクシーの再編につきましては、香南市営バス検討委員会において昨年11月から3回にわたって検討をまいりました。ここ数年は利用者数が順調に伸びており、利用の定着が見られておりますので、現行路線を大きく変えることなく、バス車両では運行の難しいエリアに対応するため乗合タクシーの活用範囲を増やす方向で再編計画を作成いたしました。本日の会議におきまして、再編計画について承認いただいた上で、10月の再編運行開始に向けて準備を進めてまいりたいと考えております。

また、例年どおり「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請」について及び「地域公共交通計画の事業評価及び取り組み」についても協議の上、承認をお願いいたします。

3. 自己紹介・資料確認

4. 会長の選定及び副会長の指名

会長に北村副市長を選定し、会長が吉田委員を副会長に指名。

5. 協議事項

(1) 地域公共交通再編計画について

○事務局より説明

○委員 1

①のいち・山北線が減便になり、他に代替運行があるとの説明であったが、今乗られている方でも乗るバスが変わる方がいると思われる。利用者への周知は大丈夫か。

→事務局より回答

現行路線の山南・徳王子線は、山北クリニック前でいち・かがみ線に繋がっており、そのほとんどの便が直通となっている。この2路線を一本化したことに伴う①のいち・山北線が減便であり、現在の利用者にとっても違和感なく引き続き利用いただけると考えている。なお、丁寧な周知していく。

○委員 1

乗合タクシーのエリア型について、一定ゾーンで決めるというのは合理的である。例えば、⑪徳王子エリアでのいち駅に行きたい人と山北郵便局前に行きたい人がいる場合、優先順位はあるのか。この到着時刻に着くように組むのか。

→事務局より回答

お出かけ便であればいち駅到着時刻の1時間前までに予約していただくルールとなっている。予約時間締切後に各利用者に対して、のいち駅への到着時間から逆算した乗車場所への到着予定時刻を運行会社から連絡することとなる。

○委員 1

エリア型は初めての試みか。

→事務局より回答

夜須地区で導入している。

○委員 1

利用方法が少し複雑であると思う。夜須地区ではどのような状況か。

→事務局より回答

夜須地区については、バスの利用者が少なかったため乗合タクシーを導入したという経緯もあり、利用者は少なく、地域で聞取りをしても存在自体が知られていない状況である。周知に際して言葉だけでは伝わりにくいので、動画を作成し視聴いただくことも試みたが利用増には繋がっていない。新たに導入するエリアについては、説明会等での周知だけでなく、地域の世話役の方々にも制度を理解してもらい周知活動の一翼を担っていただくようなことも検討していきたい。最初の利用が最もハードルが高いと思われるので、まず1度利用してもらえるようにしていきたい。

○委員 1

乗り合いになることが理想なのか。

→事務局より回答

それが理想である。

○委員 2

住宅地乗降場所(青色表示)間も往復できるよう調整中とのことだが、青色表示間の場合の時刻表への当てはめはおでかけ便になるのか。

→事務局より回答

青色表示とまちなか乗降場所(赤色表示)の基点を設けておりその往復が基本である。本来、青色表示間は想定していなかったが、地区の集会所での集まり等に利用したいとの声もあり対応できる運用とした。青色表示間での時間設定はないので、おでかけ便の時刻表を当てはめることとなる。

○委員 3

再編が 10 月からとのことなので道路運送法上の手続きについては、8 月早い段階での申請をお願いしたい。

乗合タクシーは今回 4 つエリアが増えることになるが、現在運行されているタクシー事業者に運行委託するのか。そうであればタクシー事業者の負担が増えることで本業が疎かになることが懸念されないか。

→事務局より回答

委託先はこれから選定させていただくことになる。タクシー事業者とは事前に情報共有、協議をさせていただいている。

○会長

それでは、地域公共交通再編計画につきまして、協議が整ったということによろしいか。

→全員承認

(2) 地域公共交通計画等の変更について

○事務局より説明

意見、質問等なし

○会長

それでは、地域公共交通計画等の変更につきまして、協議が整ったということによろしいか。

→全員承認

(3) 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請について

○事務局より説明

○委員 1

資料 6 の 3 ページの目標 2、現状値が令和 2 年度となっている。6 ページの検証の対象となっていることは理解するが、最新の数値に見直しはしないのか。

→事務局より回答

計画最終年度の令和 9 年度と計画当初の最新情報である令和 2 年度との比較検証としている。令和 10 年度からの計画を改めて策定するので、その時に精査の上、再設定をさせていただく。

○委員 2

利用者数の増加や収支率が改善してきているのは、利便性の向上が一番の要因だと思われる。これまでこういった工夫をされてきたのか詳しく説明をいただきたい。

→事務局より回答

以前は、香南市内を走る路線図は非常に複雑で、利用者はそれになんとか慣れて利用されていたが、そこから路線を簡素化し、乗継についても再編の都度細かく調整している。また、毎年 65 歳と 75 歳の方に無料のお試し乗車券を配布しての利用促進や、令和 6 年度からは高校生以下等の運賃を無料化している。今年 10 月の再編においては、これまで距離に応じて運賃が上がっていたところを 1 路線一律 100 円とすることとしており、中山間地域の方にも利用しやすくなることで更なる利用者数の増加を見込んでいる。

○委員 4

乗合タクシーについて、例えば病院まで利用して、その後受診が終わるまで待っていただくということは運用として想定されているのか。それともまた別に予約が必要なのか。

→事務局より回答

受診が終わるまで待つといったことはできないので、別におかえり便を呼んでいただく必要がある。病院の受診にかかる時間が不確定なときは、終わられてから予約していただくことになる。受診にかかる時間が概ね決まっている方は、おでかけ便の予約に合わせておかえり便も予約されているようである。

○会長

それでは、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請につきまして、協議が整ったということによろしいか。

→全員承認

(4) 地域公共交通計画の事業評価及び取り組みについて

○事務局より説明

○委員 1

まず、進捗状況で丸がたくさん増えており、素晴らしいことだと思う。

説明のあった高校生以下等無料化について、反響はどうだったのか。

→事務局より回答

無料化前の数字がないので比較はできないが、利用者のうち無料対象者の割合が 7 % である。乗務員に確認しても明らかに学生の利用が増えていると聞いている。

○委員 1

やはり料金の部分をシームレスにすると効果が出る。ぜひもっと若い人に使っていただきたい。

⑦のいち駅ー土佐山田駅を結ぶ路線については少しずつ進んでいるとのことで、協力的に進めていけるよう香美市の地域公共交通会議でも話をしておく。新しい路線を作ることは景気のいい話なので積極的に進めたらいいと思うが、実際にニーズがあるのかについては共有していただきたい。

○会長

それでは、地域公共交通計画の事業評価及び取り組みにつきまして、協議が整ったということによろしいか。

→全員承認

6. その他

○委員 5（高知県交通運輸政策課）

ICOCAについて、令和10年度から市町村交通についてもICOCAを導入できるように県下的に進めている。導入されれば住民の方の利用も増えると思うので、ぜひ進めさせていただければと考えている。

7. 閉会